

# 小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧

1990年度



1991年3月

富山県小杉町教育委員会

## 例　　言

1. 本書は、平成2年に小杉町教育委員会が実施した、埋蔵文化財発掘調査及び、分布調査の概要をまとめたものである。
2. 本書に収録の発掘・分布調査は、平成2年3月から平成3年1月末までとした。
3. 太閤山カントリークラブ建設に伴う発掘調査は、小杉町教育委員会が調査主体となり、山武考古学研究所（所長 平岡和夫）調査員の協力を得て実施した。  
調査の担当は、小杉町教育委員会が上野 章・原田義範が行い、山武考古学研究所が松田政基・桐谷 優・肥田順一・小村正之・大越直樹・丸山雅美が行った。
4. これらの埋蔵文化財調査に係る事務局は、小杉町教育委員会におき、社会教育課主任金山秀章が担当し、課長荒川秀次が総括した。
5. 調査の実施にあたり、富山県教育委員会文化課、富山県埋蔵文化財センターから指導・協力を得た。また、調査から報告書作成に至るまで次の方々や諸機関から教示・協力をいただいた。記して謝意を表したい。  
穴澤義功・池野正男・宇野隆夫・久々忠義・小林高範・酒井重洋・納谷守幸・西井龍義・  
林寺巖州・藤田富士夫・吉川智明・前川 要・邑本順亮・山内賢一・山口辰一  
荒山建設株式会社・呉羽射水山ろく用水土地改良区・開成測量株式会社・太閤山観光株式会社・富山市教育委員会・ユキ総合開発株式会社
6. 小杉町教育委員会が調査を担当した遺跡の出土遺物は、太閤山観光株式会社の調査事務所及び小杉町立太閤山小学校の教室を借用し整理を行い、この遺物・原図・写真類は小杉町教育委員会が保管している。
7. 本書の編集・執筆は、上野、原田が行った。

## 目　　次

1. 平成2年度の概要	1	東山II遺跡(No.12)	10
2. 分布調査	2	黒河西山遺跡(No.10・11)	11
3. 試掘調査	3	伊勢領遺跡(No.13・14)	12
黒河西山遺跡(No.1)	5	塚越大沢遺跡(No.15)	13
中山北B遺跡(No.8)	5	小杉流通業務団地内No.1遺跡(No.16)	13
針原東遺跡(No.2)	6	4. 本調査	14
白石遺跡(No.3・4)	7	白石遺跡(No.2)	14
仮称新幹線分布調査No.4遺跡(No.5)	8	針原東遺跡(No.3・4)	15
仮称新幹線分布調査No.4遺跡(No.6)	9	5. ゴルフ場関係の調査	16
仮称新幹線分布調査No.4遺跡(No.7)	9	6. 普及・活用	20
塚越貝坪遺跡(No.9)	10	(No.は、一覧表の番号を示す)	
表紙写真は赤坂C遺跡XV地区3号須恵器窯跡			

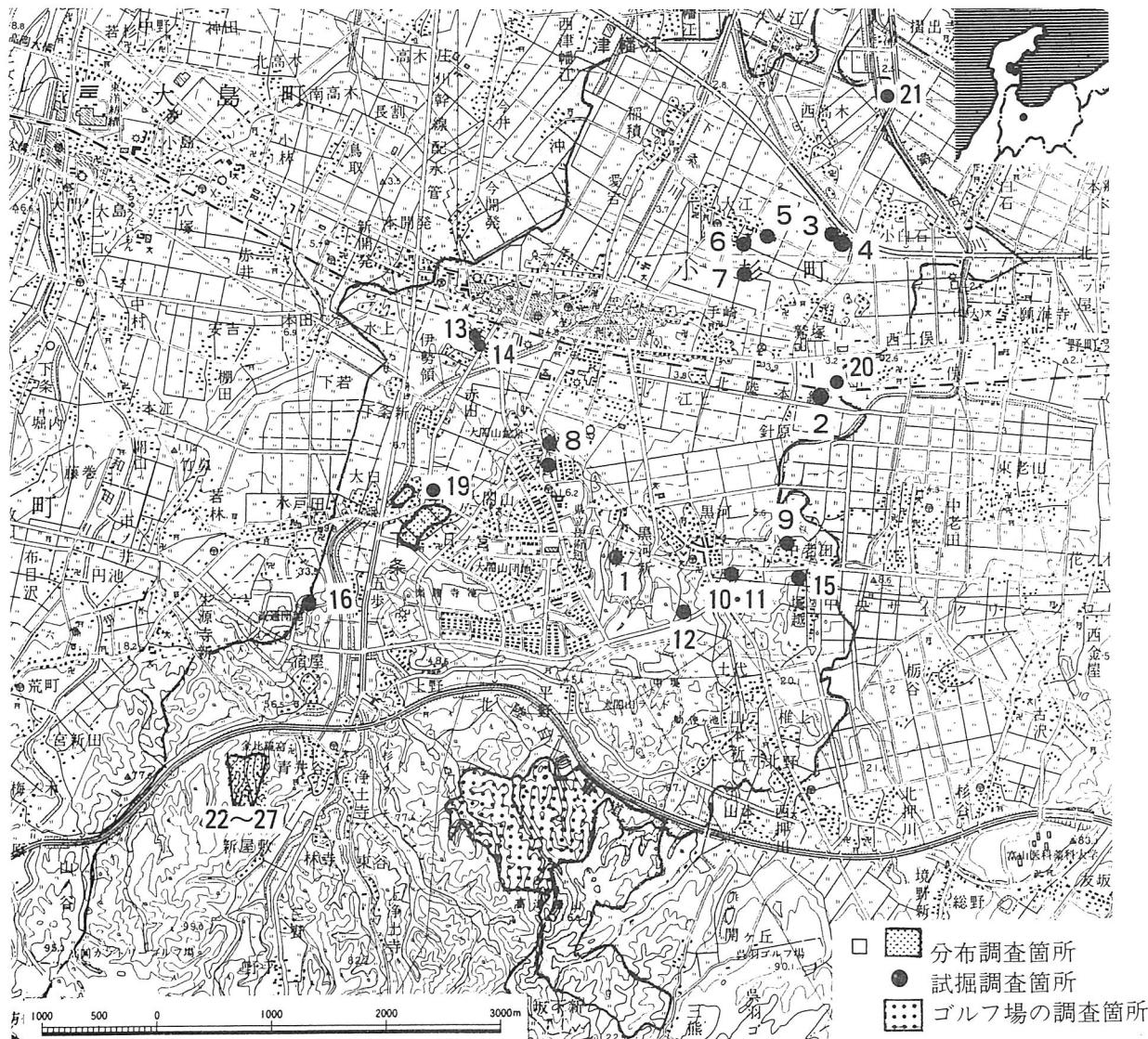
## 1. 平成2年度の概要

平成2年度小杉町教育委員会が実施した埋蔵文化財の調査件数は、分布調査10件、試掘調査33件、本調査20件であった。この内、射水丘陵で建設の開始された太閤山カントリークラブのゴルフ場に伴う調査が試掘調査17件と本調査16件に達し大きなウェートを占めた。

調査体制は、町の調査員2名のほか、ゴルフ場関係の調査は、千葉県に事務所をもつ山武考古学研究所から調査員2～5名の協力を得て実施した。

この他小杉町内では、平成4年に富山県が県民公園太閤山ランドで博覧会の開催を予定しており、博覧会に先立って予定地に係る遺跡の発掘調査が県教育委員会によって試掘調査9件と本調査1件が行なわれている。

次年度は、今年度に継続してゴルフ場関係で大規模な本調査があり、町では遺跡密度が高く開発との調整から今後更に、大型開発に伴う本調査も見込まれており、調査体制の充実が必要となっている。



第1図 調査位置図 (数字は調査一覧表の番号を示す)

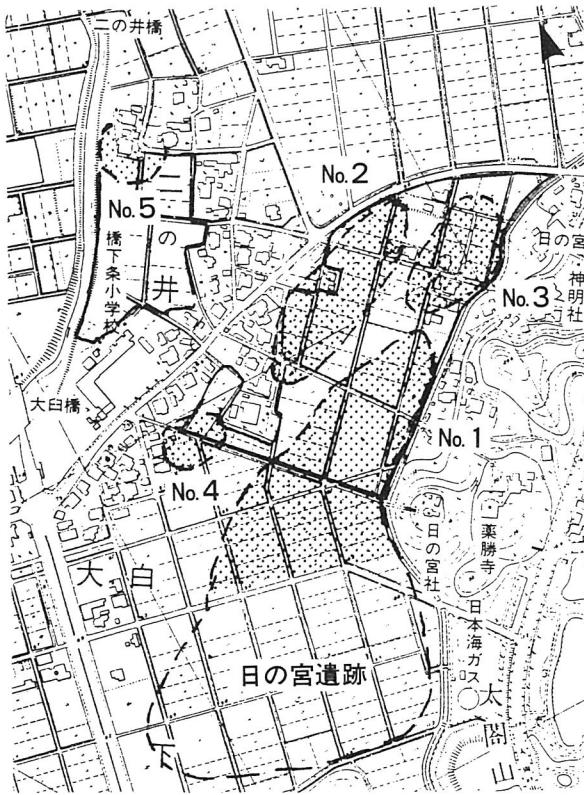
## 2. 分布調査

町では、周知の埋蔵文化財包含地内や付近で行なわれる公共関連事業や民間の各種開発に先立ち、事前に現地確認をして遺跡の分布状況を把握したり、或いは、遺跡の所在が予想される地域での大規模な開発に対し、遺跡の分布調査を実施している。

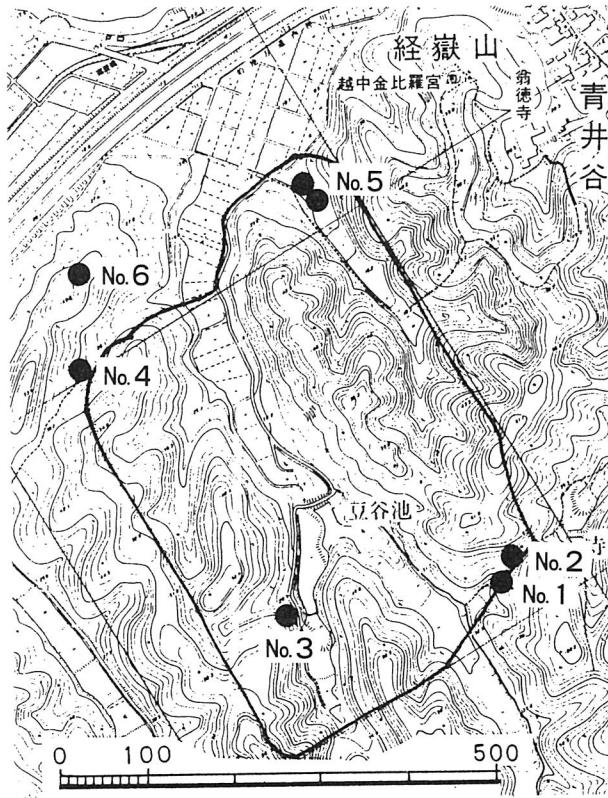
これまで明らかになっている周知の埋蔵文化財包含地は、地図に記入され町教育委員会の窓口に備え付けており、新たに発見された遺跡は登載し周知の遺跡として今後取り扱われる。

No.	遺跡名	所在地	原因	調査日	遺跡範囲	種別	遺構・遺物
1	日の宮	二の井	分譲住宅造成	H 2・4・9～4・10	約19,300m <sup>2</sup>	散布地	土師器(古～平)・須恵器(奈～平)・陶磁器(近世)
2	二の井I	二の井	分譲住宅造成	H 2・4・9～4・10	約12,900m <sup>2</sup>	散布地	土師器(古?)・珠洲(中世)・陶磁器(近世)
3	二の井II	二の井	分譲住宅造成	H 2・4・9～4・10	約 9,300m <sup>2</sup>	散布地	弥生土器・土師器・須恵器(奈～平)・珠洲(中世)・陶磁器(近世)
4	二の井III	二の井	分譲住宅造成	H 2・4・9～4・10	約 2,500m <sup>2</sup>	散布地	弥生土器・土師器・須恵器(奈～平)・陶磁器(近世)
5	二の井IV	二の井	分譲住宅造成	H 2・4・9～4・10	約 1,500m <sup>2</sup>	散布地	土師器(古?)・珠洲(中世)・陶磁器(近世)
6	赤坂C-XVI	赤坂	ゴルフ場建設	H 2・6・28	約 260m <sup>2</sup>	生産跡	穴?1(奈～平?)
7	赤坂C-XVII	赤坂	ゴルフ場建設	H 2・6・28	約 150m <sup>2</sup>	生産跡	穴?1(奈～平?)
8	赤坂C-XVIII	赤坂	ゴルフ場建設	H 2・6・28	約 320m <sup>2</sup>	生産跡	炭焼窯跡?2(奈～平)
9	赤坂C-XIX	赤坂	ゴルフ場建設	H 2・6・28	約 400m <sup>2</sup>	生産跡	製鉄炉?1・須恵器(奈～平)
10	赤坂E-XIV	赤坂	ゴルフ場建設	H 2・8・6	約 200m <sup>2</sup>	生産跡	穴?1(奈～平)
11	赤坂E-XV	赤坂	ゴルフ場建設	H 2・8・6	約 200m <sup>2</sup>	生産跡	炭焼窯跡?2(奈～平)
12	野田池A-III	山本字野田池	ゴルフ場建設	H 2・7・16	約 80m <sup>2</sup>	生産跡	穴?1(奈～平)
13	野田池A-IV	山本字野田池	ゴルフ場建設	H 2・7・16	約 600m <sup>2</sup>	生産跡	炭焼窯跡?2・穴1・製鉄炉1(奈～平)
14	野田池A-V	山本字野田池	ゴルフ場建設	H 2・7・16	約 250m <sup>2</sup>	生産跡	炭焼窯跡?1・穴1・(奈～平)
15	野田池A-VI	山本字野田池	ゴルフ場建設	H 2・7・16	約 1,500m <sup>2</sup>	生産跡	炭焼窯跡?2・穴1・製鉄炉1(奈～平)
16	野田池A-VII	山本字野田池	ゴルフ場建設	H 2・7・16	約 70m <sup>2</sup>	生産跡	穴?1(奈～平)
17	野田池A-VIII	山本字野田池	ゴルフ場建設	H 2・7・16	約 900m <sup>2</sup>	生産跡	須恵器窯跡?2(奈)・穴1・須恵器(奈)
18	野田池A-IX	山本字野田池	ゴルフ場建設	H 2・7・16	約 80m <sup>2</sup>	生産跡	穴?1(奈～平)
19	二の井	二の井	駐車場建設	H 2・7・18			確認されず
20	針原東	戸破字針原	会社敷地造成	H 2・10・30		散布地	土師器・須恵器(中世)・陶磁器(中近世)
21	西高木	西高木255外	会社敷地造成	H 2・11・6			確認されず
22	青井谷干田I	青井谷字干田	ミニゴルフ場	H 2・11・26～12・12		生産跡	炭混じりの穴1(奈～平?)
23	青井谷干田II	青井谷字干田	ミニゴルフ場	H 2・11・26～12・12		生産跡	焼壁穴1(奈～平?)
24	青井谷干田III	青井谷字干田	ミニゴルフ場	H 2・11・26～12・12		生産跡	炭混じりの穴1(奈～平?)
25	青井谷干田IV	青井谷字干田	ミニゴルフ場	H 2・11・26～12・12		散布地	須恵器(奈～平?)
26	青井谷干田V	青井谷字干田	ミニゴルフ場	H 2・11・26～12・12		散布地	土師器・須恵器・羽口(奈～平?)
27	青井谷干田VI	青井谷字干田	ミニゴルフ場	H 2・11・26～12・12	約 200m <sup>2</sup>	塹か?	石組み遺構2(中近世?)

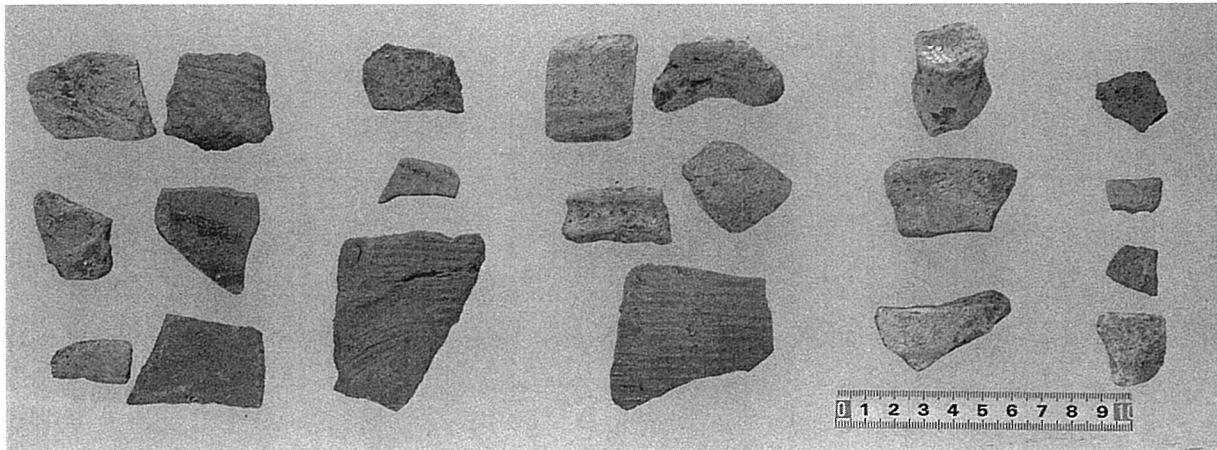
表1 分布調査に伴う新発見の遺跡



第2図 ニの井地内の分布調査



第3図 青井谷地内の分布調査



P L 1 採集土器 (右からNo. 1 ~ No. 5)

### 3. 試掘調査

平成2年度、町教育委員会が実施した試掘調査は、太閣山カントリークラブのゴルフ場関係を除くと、企業団地・町道・駐車場・農協施設の公共関連事業4件を含めて11遺跡16件であった。試掘の結果、本調査が必要となったものは約半数に達した。

今年度は、3件の本調査を実施し、残りは次年度にもちこすこととなった。この中には針原東遺跡や白石遺跡のように弥生時代後期から古墳時代はじめにかけての集落や中世の集落跡が調査対象地内に含まれている大規模な遺跡の試掘もあり、今後その対応にせまられることとなったものもある。

No.	遺跡名	所 在 地	原 因	調 査 期 間	対 象 面 積	発 墓 面 積	検 出 遺 横	出 土 遺 物	開 発 へ の 対 応
1	黒河西山	黒河新字西山4,840	会社の駐車場	H 2・3・27~3・28 (延べ2日間)	約 600m <sup>2</sup>	約 92m <sup>2</sup>	製鉄炉?・焼壁穴1、 穴2・溝1	炉壁・鉄滓・須恵器(奈~平)	本調査必要
2	針原東	戸破字針原	企業団地	H 2・7・4~7・19 (延べ10日間)	約 47,000m <sup>2</sup>	約 3,700m <sup>2</sup>	穴・溝多数	弥生土器・須恵器(奈~平)	本調査
3		白石746-2外	町道479号線	H 2・7・2~7・23 (延べ2日間)	約 5,600m <sup>2</sup>	約 516m <sup>2</sup>	大溝	弥生土器	本調査実施
4	白石	磐塚763外	会社敷地造成	H 2・12・14~12・22 (延べ6日間)	約 50,000m <sup>2</sup>	約 6,000m <sup>2</sup>	大溝・穴・柱穴状の 小穴	繩文土器・石斧・弥生土器・木製品・土師 器(古~平)・須恵器(奈~平)・珠洲・硯・ 青磁・土師質土器(中世)・陶磁器(近世)	本調査必要
5	仮称・ 新幹線分布 調査 No.4	大江352	駐車場造成	H 2・7・5 (延べ1日間)	約 1,744m <sup>2</sup>	約 243m <sup>2</sup>	穴・溝	土師器(古~平)・須恵器(奈~平)・珠洲 (中世)・陶磁器(近世)	本調査
6		大江104外	車両置場	H 2・10・11 (延べ1日間)	約 1,860m <sup>2</sup>	約 77m <sup>2</sup>	大溝	土師器	
7		大江402外	農協カントリーエレベータ建設	H 2・12・1 (延べ1日間)	約 8,000m <sup>2</sup>	約 880m <sup>2</sup>		須恵器(奈~平)・土師器(中~近世)・陶 磁器(近世)	支障なし
8	中山北B	戸破字加茂1,651	個人宅地造成	H 2・9・26 (延べ1日間)	約 908m <sup>2</sup>	約 96m <sup>2</sup>		土師器	支障なし
9	塙越貝坪	塙越賛坪995-1	個人宅地造成	H 2・10・13 (延べ1日間)	約 858m <sup>2</sup>	約 85m <sup>2</sup>		須恵器(奈~平)	支障なし
10	黒河尺目	尺目2,030外	ガソリンスタン ド建設	H 2・9・29 (延べ1日間)	約 323m <sup>2</sup>	約 23m <sup>2</sup>	穴・柱穴状小穴	繩文土器・須恵器・土師器・鉄滓(奈~平)・ 陶磁器(近世)	本調査実施
11		尺目2,061外	ガソリンスタン ド建設	H 2・12・22 (延べ1日間)	約 1,000m <sup>2</sup>	約 167m <sup>2</sup>	穴・溝・柱穴状小穴	須恵器・土師器・鉄滓(奈~平)・陶磁器 (近世)	本調査必要
12	東山II	黒河字嵩山4934-2	店舗建設	H 2・10・27 (延べ1日間)	約 1,610m <sup>2</sup>	約 208m <sup>2</sup>	穴2	須恵器・土師器・鉄滓(奈~平)・陶磁器 (近世)	支障なし
13	伊勢領	三ヶ2,252外	分譲住宅造成	H 2・9・29 (延べ1日間)	約 1,354m <sup>2</sup>	約 180m <sup>2</sup>	溝・穴・柱穴状小穴	土師器(古~平)・須恵器・鉄滓(奈~平)・ 陶磁器(近世)	本調査必要
14		三ヶ2,278外	アパート造成	H 2・10・27 (延べ1日間)	約 1,000m <sup>2</sup>	約 118m <sup>2</sup>	溝・穴	土師器(古~平)・須恵器・鉄滓(奈~平)・ 陶磁器(中世)	本調査必要
15	塙越大沢	塙越字大沢556外	駐車場造成	H 2・11・24 (延べ1日間)	約 1,400m <sup>2</sup>	約 224m <sup>2</sup>		陶磁器(近世)	支障なし
16	小杉流通業務 団地内 No.1	下条515外	会社増設工場建 設	H 2・12・8 (延べ1日間)	約 1,700m <sup>2</sup>	約 150m <sup>2</sup>	溝・穴	土師器(古?)	本調査必要
計	11遺跡 16件			延べ32日間	約124,957m <sup>2</sup>	約12,759m <sup>2</sup>			

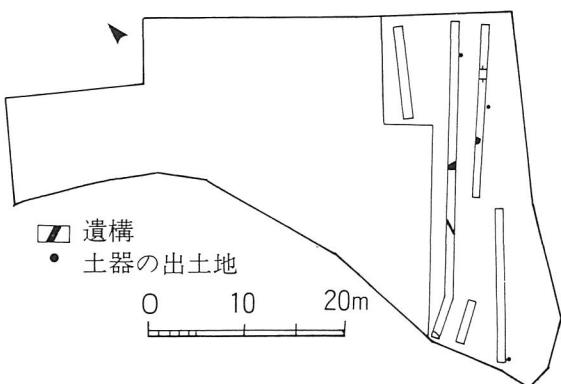
表 2 試掘調査実績一覧 (ゴルフ場関係を除く)

### 黒河西山遺跡（No. 1）

遺跡は、射水丘陵中にあって標高約12~20mの斜面に立地する。

今回の調査対象地では、発掘区全般から遺構・遺物が確認された。遺構では、焼壁穴・穴・溝が検出され、遺物では鉄滓・炉壁が10点余りと須恵器1点が出土した。

遺構の性格は奈良から平安時代の製鉄関連遺構で、鉄生産遺跡とおもわれる。



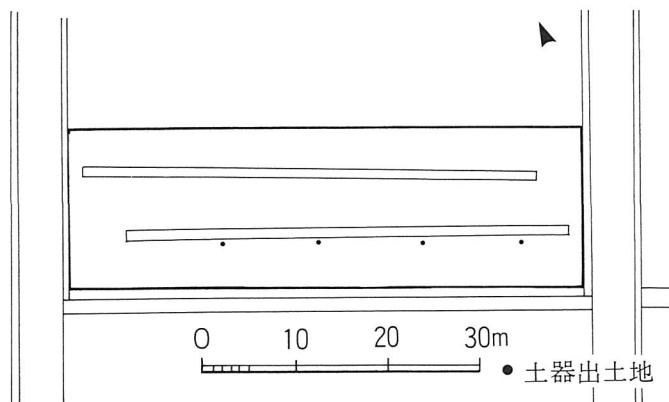
第4図 発掘区

### 中山北B遺跡（No. 8）

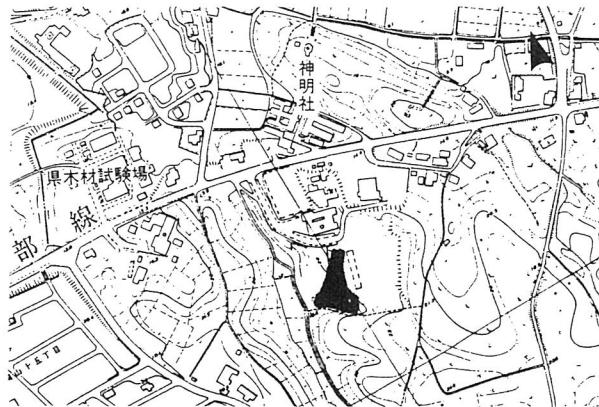
遺跡は、丘陵部と平野部の接する所にあって、標高約5mの丘陵裾部に立地する。

これまでに遺跡からは水田の用排水路の改修等で須恵器や土師器が採取されている。

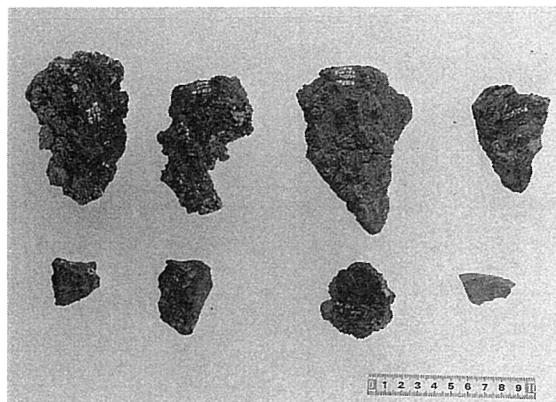
今回の調査対象地からは遺構が検出されず、わずかに土師器・須恵器数点が出土した。



第6図 発掘区



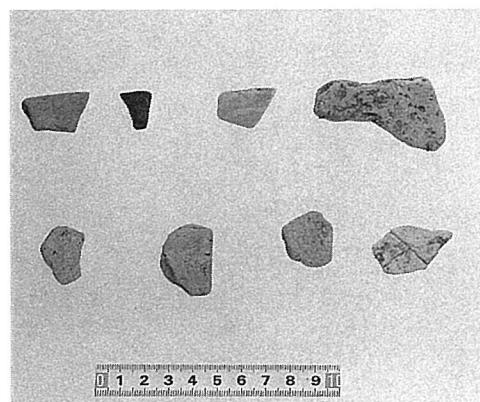
第3図 位置図 (1/10,000)



P L 2 出土の遺物



第5図 位置図



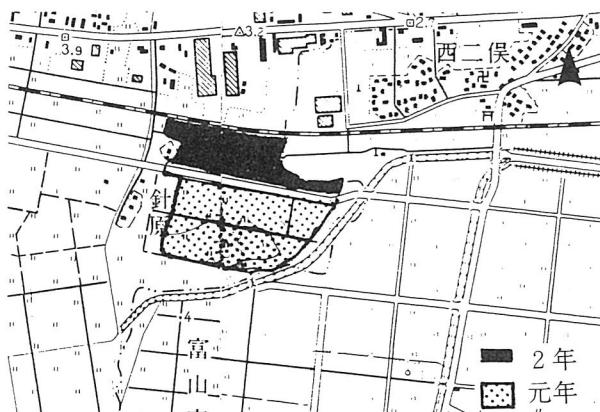
P L 3 出土土器

### 針原東遺跡（No. 2）

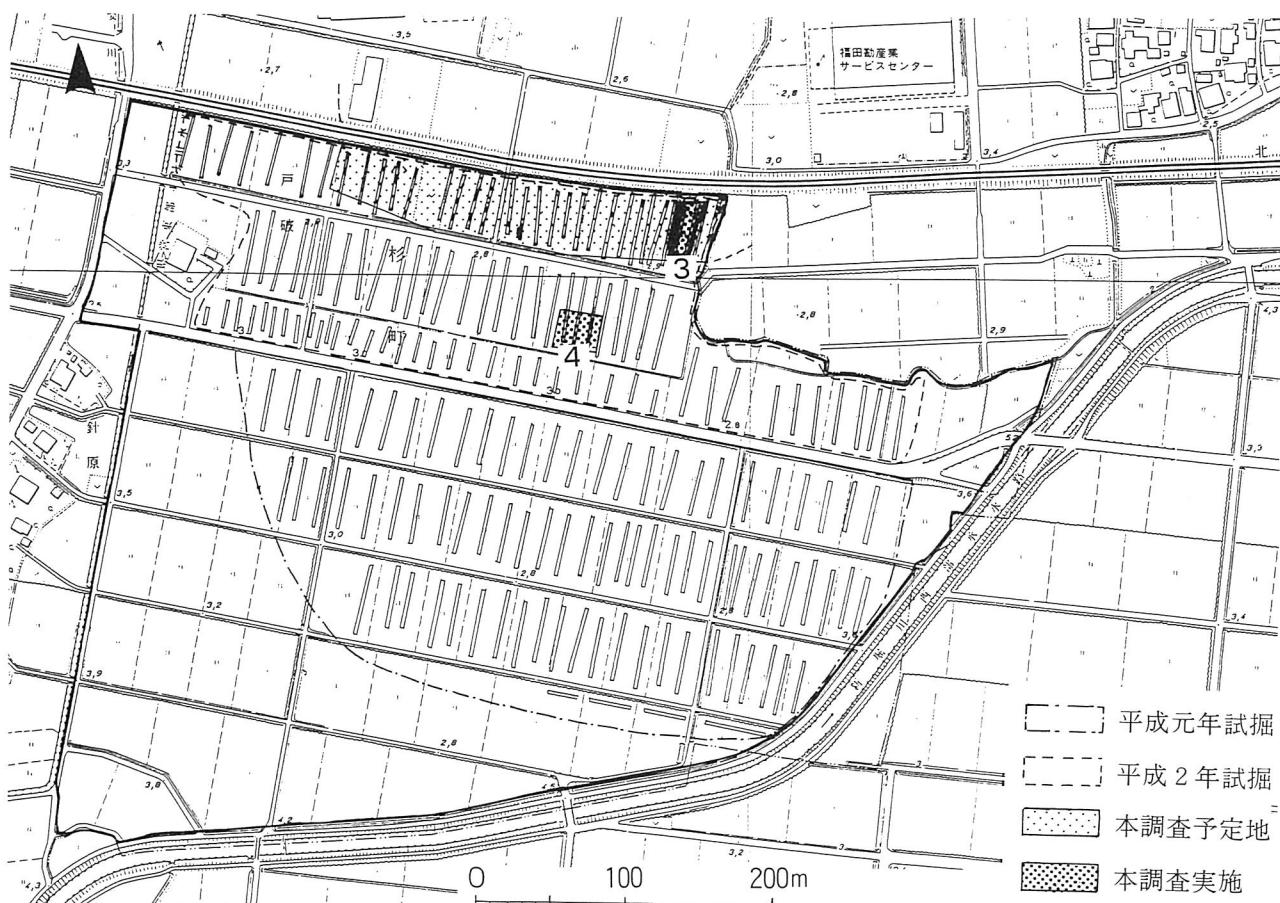
遺跡は、標高約2mの平野部にあって鍛冶川の左岸に立地する。

遺跡の発見は、昭和62年に広範囲から遺物が採取されたことによる。

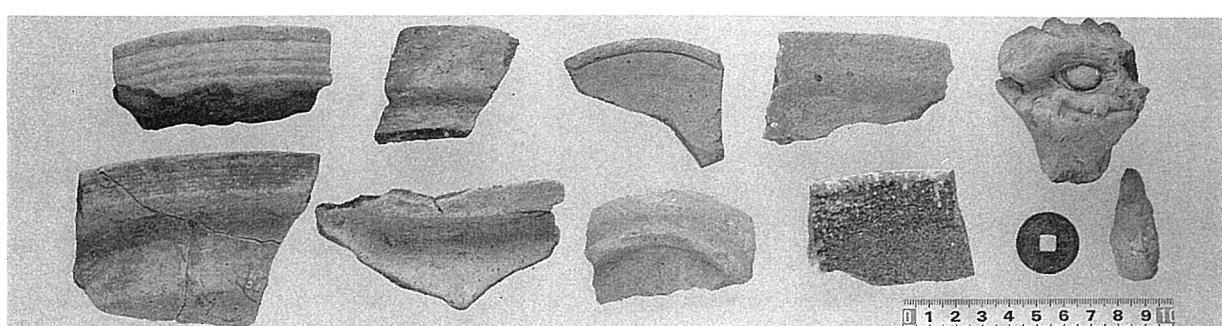
平成元年の試掘では、須恵器が散発的に出土している。平成2年には、弥生時代以降近世までの各時代に及ぶ土器が出土した。なお北側では、弥生時代の遺構を多く検出した。



第7図 位置図 (1/25,000)



第8図 発掘区（3・4は本調査箇所のNo.を示す）



PL 4 出土土器

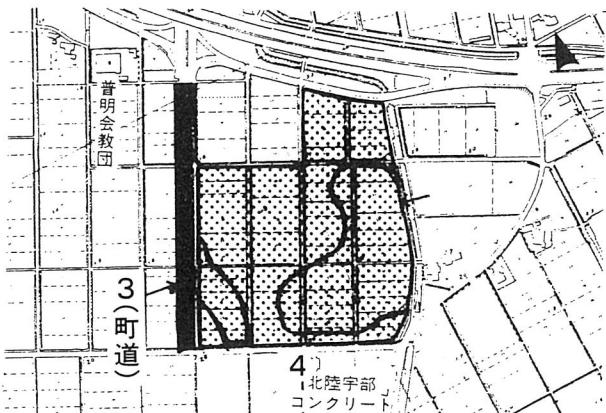
### 白石遺跡 (No.3・4)

遺跡は、標高約2mの平野部に存在する。

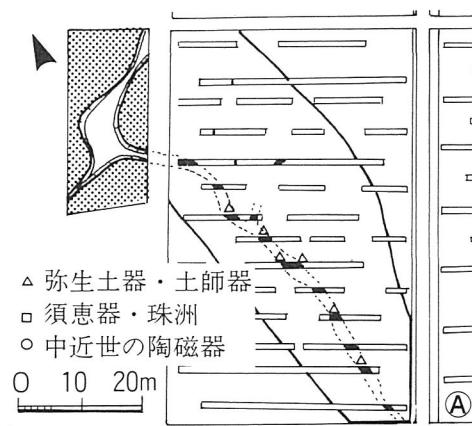
この遺跡は昭和60年に実施された新幹線計画路線の分布調査によって発見された。

町道の試掘では、対象地の南側から弥生から古墳時代にかけての溝を検出し、引き続き本調査を実施した。

東側の調査では、新堀川の左岸に中世を中心とする集落跡が広がっていた。



第9図 位置図

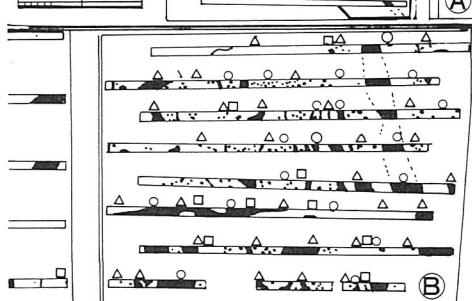


- △ 弥生土器・土師器
- 須恵器・珠洲
- 中近世の陶磁器

0

10

20m



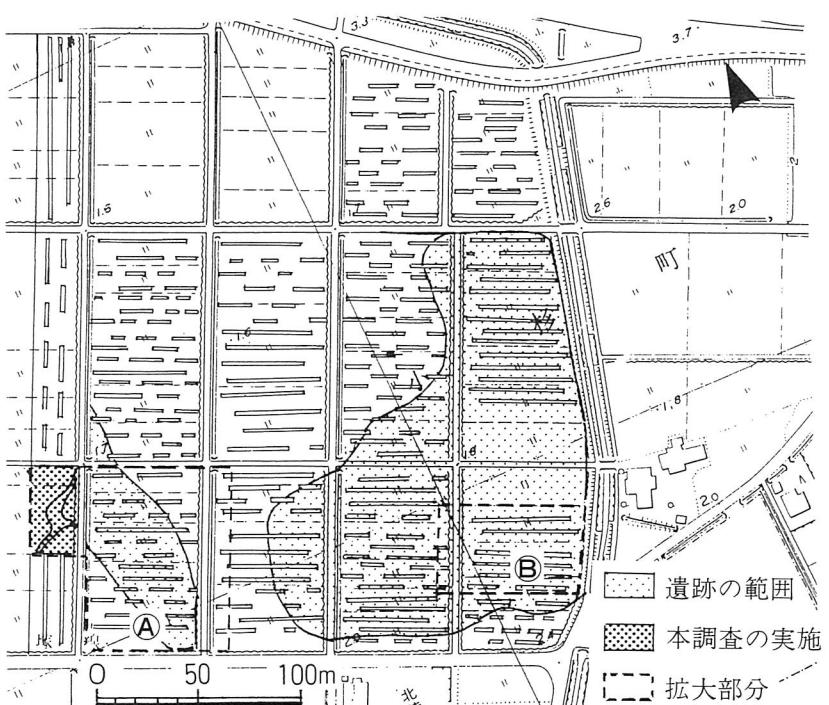
- △ 弥生土器・土師器
- 須恵器・珠洲
- 中近世の陶磁器

0

50

100m

第10図 発掘区拡大 (上A・下B)

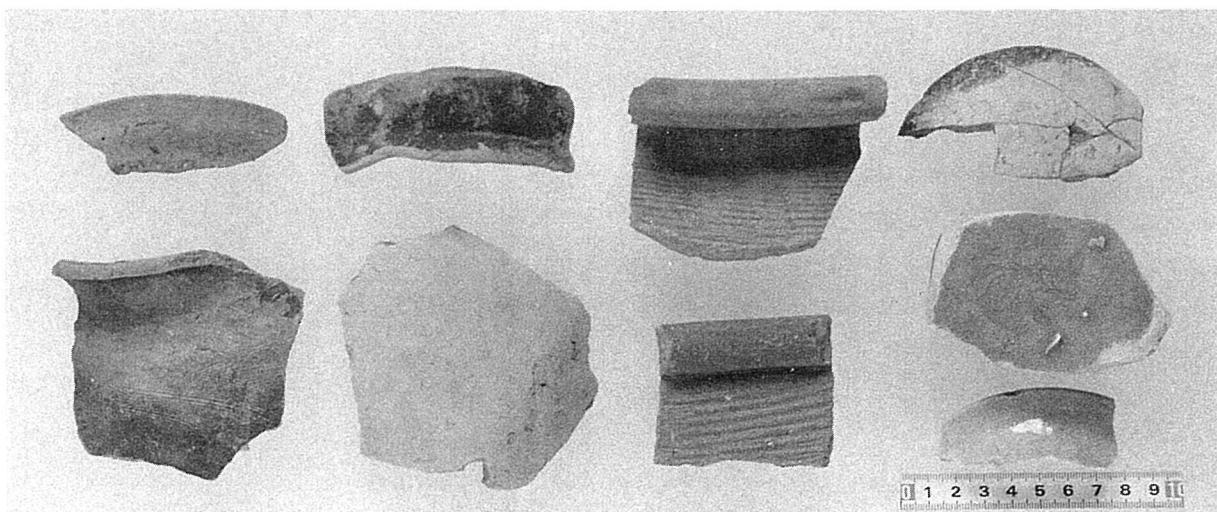


遺跡の範囲

本調査の実施

拡大部分

第11図 発掘区



1 2 3 4 5 6 7 8 9

PL 5 出土土器

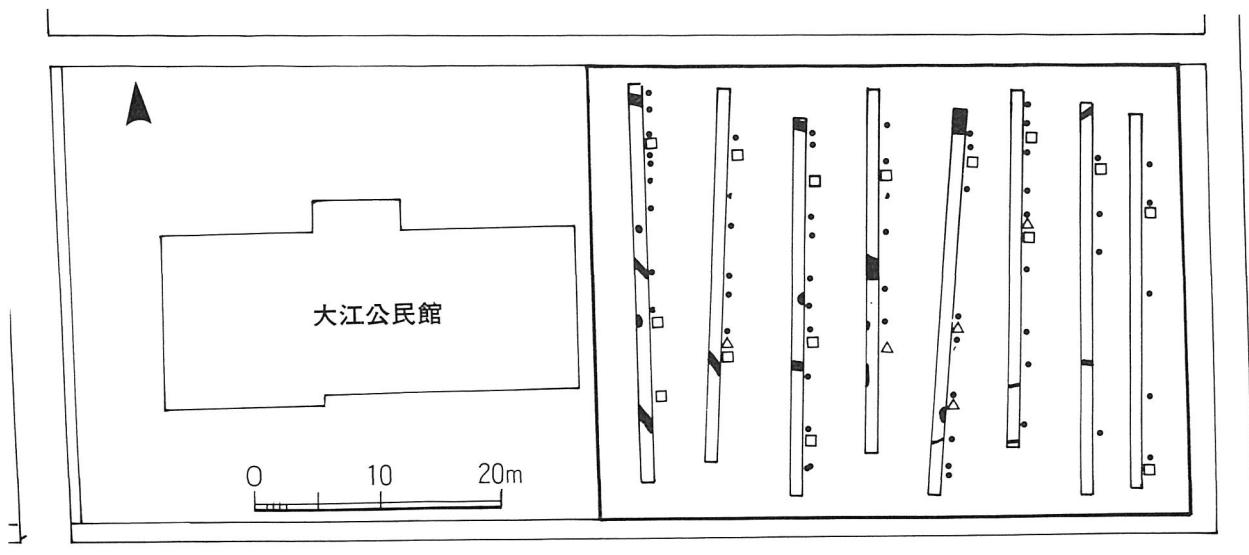
### 仮称 新幹線分布調査No. 4 遺跡（No. 5）

遺跡は、標高約3mの平野部にあって、昭和60年に実施された新幹線計画路線の遺跡分布調査によって発見された。

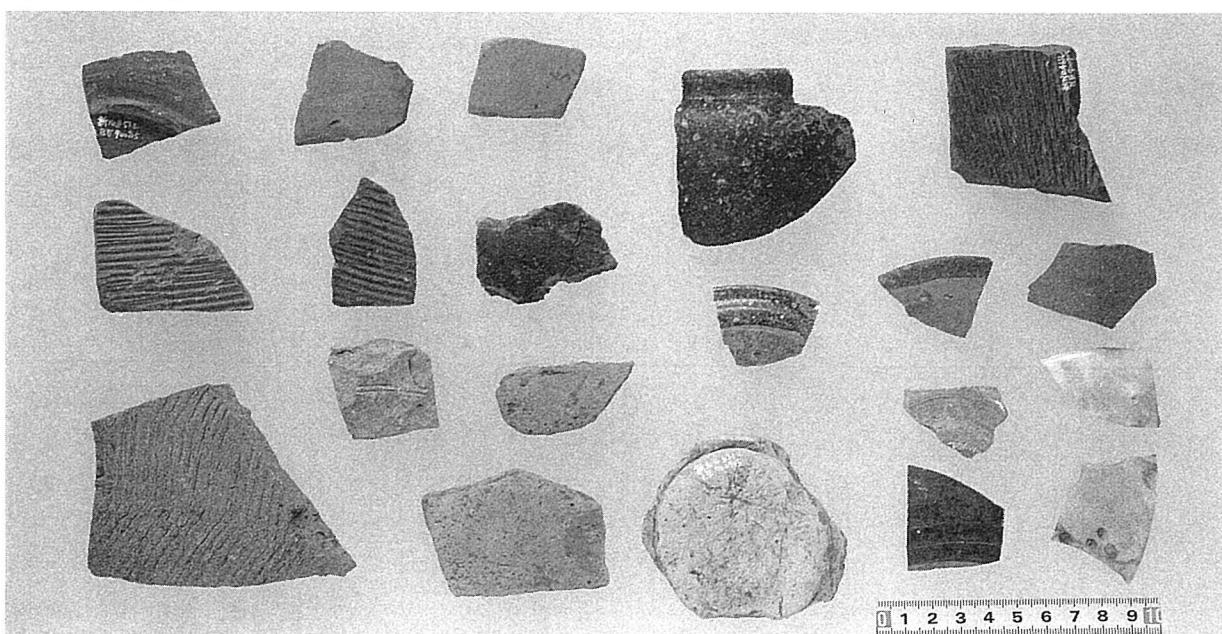
今回の調査対象地では、黒褐色土下の灰褐色土上で幅約0.2~1.5mの溝数条と穴数個を検出した。遺物は、古墳時代の土師器、奈良・平安時代の須恵器・土師器、中世の珠洲のほかに近世の陶磁器が出土している。



第12図 位置図



第13図 発掘区

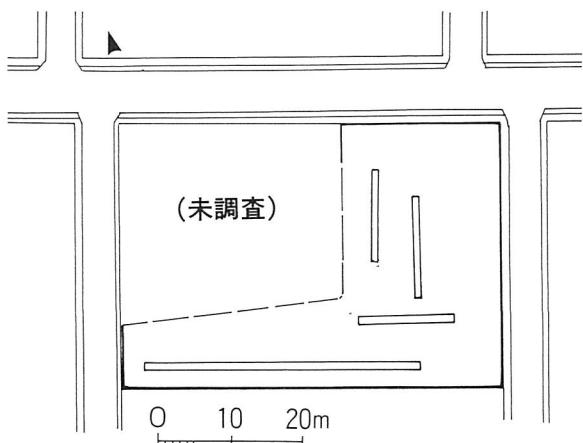


PL 6 出土土器

### 仮称 新幹線分布調査No. 4 遺跡（No. 6）

遺跡は、標高約3mの平野部に立地し、分布調査では、東西方向に約2.5kmの長さにわたって遺物の広がりが知られている。

今回の調査対象地では、発掘調査によって遺構が検出されなかったが、地表面からは、時期不明の土師質土器の細片を数点採集している。



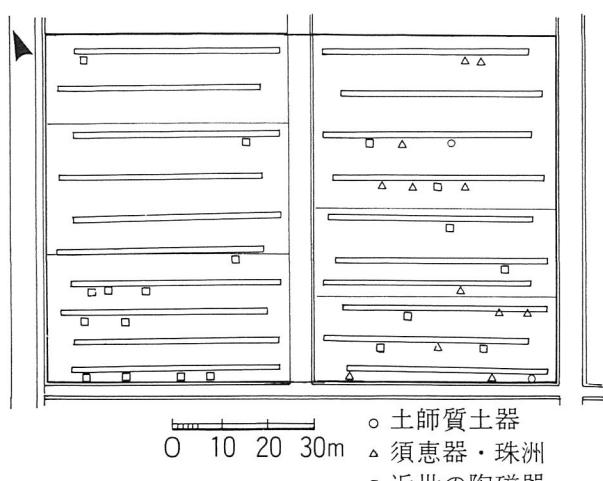
第15図 発掘区

### 仮称 新幹線分布調査No. 4 遺跡（No. 7）

遺跡は、標高約3mの平野部に立地する。

今回の調査対象地では、発掘調査による明確な遺構の検出がなかった。

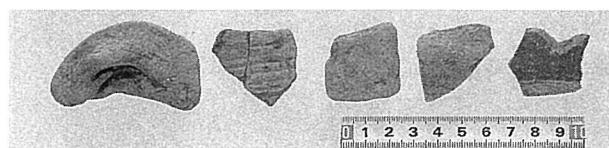
遺物は奈良・平安時代の須恵器が若干と中近世の土師質土器が少し、近世の陶磁器が多く出土している。



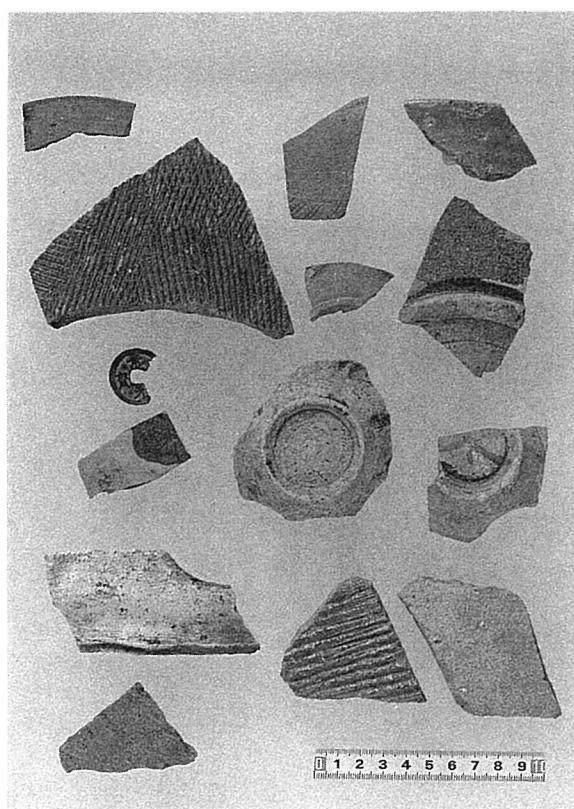
第16図 発掘区



第14図 位置図



PL 7 出土土器



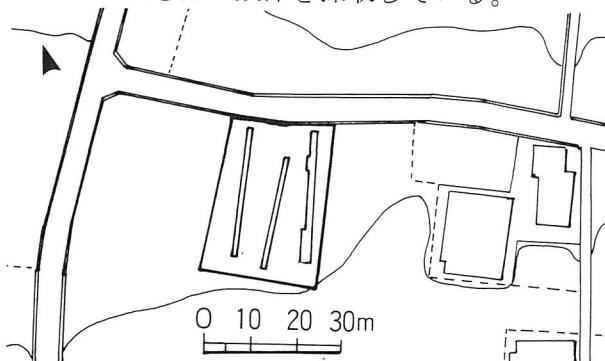
PL 8 出土土器

### 塚越貝坪遺跡 (No.9)

遺跡は、丘陵部と平野部の接する所にあって、標高約8mの微高地上に立地する。

昭和62・63年に実施した試掘調査では、穴や溝が検出され鐵滓や炉壁の出土から製鉄関連遺構の所在が予想されている。

今回の調査対象地からは遺構が検出されず、わずかに須恵器・鐵滓を採取している。



第18図 発掘区



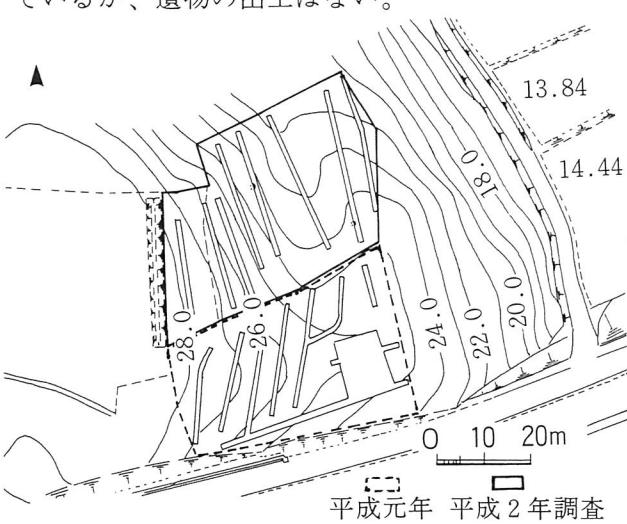
第17図 位置図



P L 9 試掘のようす



第19図 位置図



第20図 発掘区



P L 10 調査状況

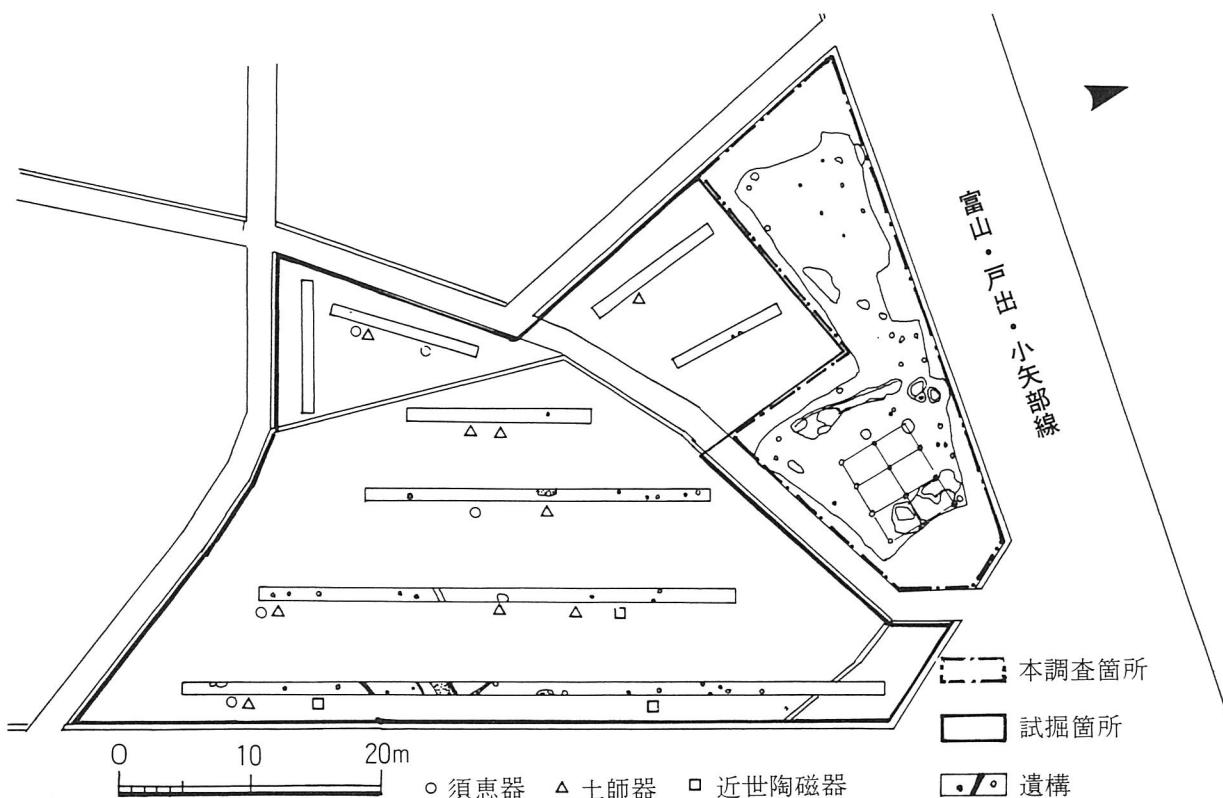
### 黒河尺目遺跡 (No.10・11)

遺跡は、丘陵部と平野部の接する所にあって、標高約10mの微高地上に立地する。

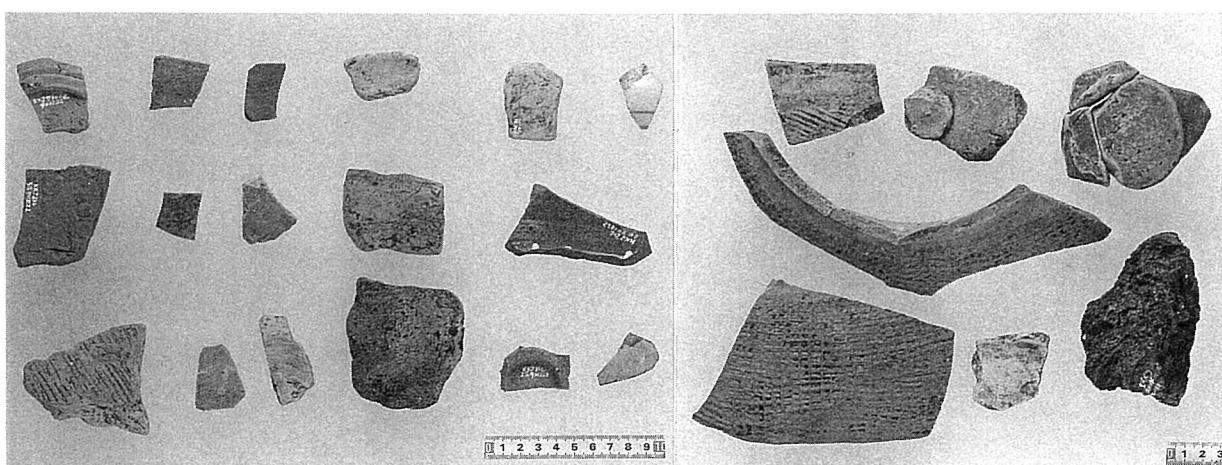
この遺跡は、昭和51年に発見され、昭和60～62年にかけて調査対象地東側に接した県道道路敷の発掘調査が行なわれ、奈良時代や中世の遺物と掘立柱建物・穴が検出されている。



第21図 位置図



第22図 発掘区



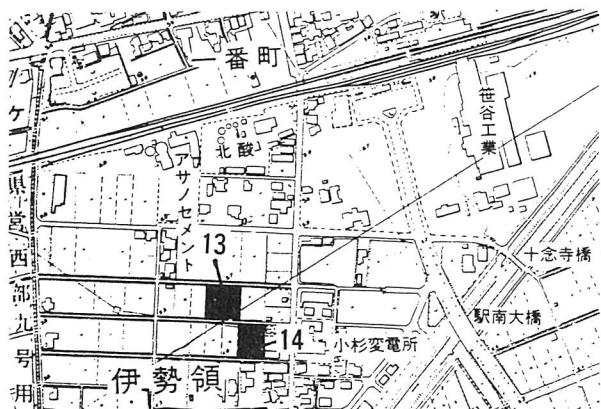
P L11 出出土器 (右は本調査出土品)

### 伊勢領遺跡 (No.13・14)

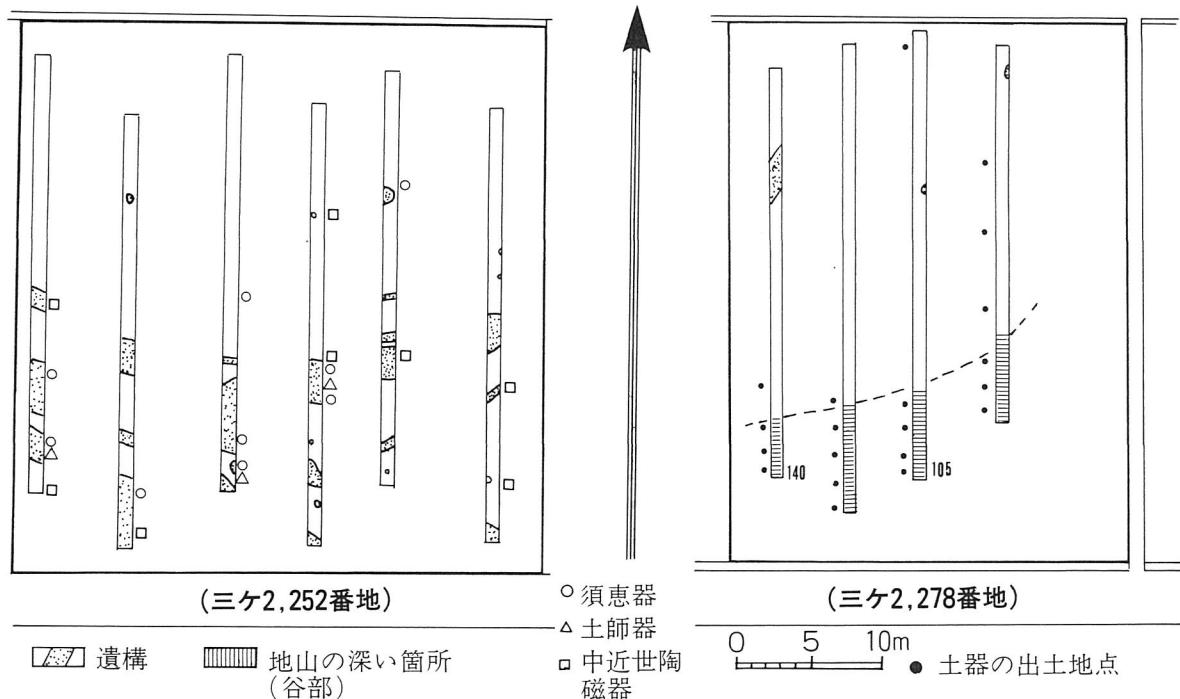
遺跡は、標高約3mの平野部にあって、下条川左岸の微高地上に立地している。

遺跡の発見は昭和初め頃に川の改修・区画整理等に伴って縄文時代の石器や、弥生時代以降の遺物が出土したことによる。

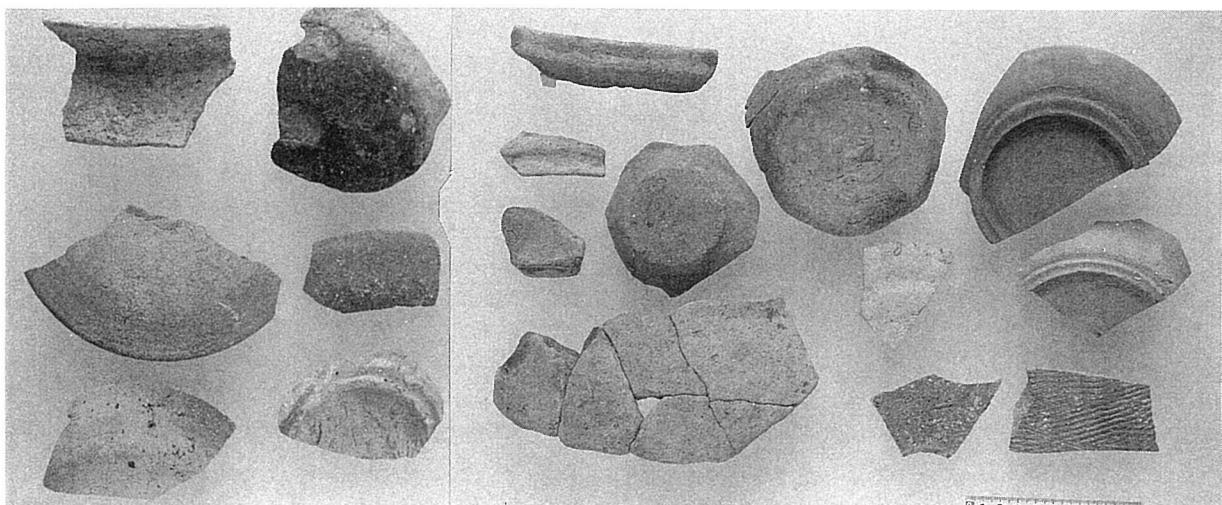
今回の調査対象地では、古墳・奈良時代の遺構が表土下約20~30cmの淡黄褐色粘質土上で溝や穴を確認した。



第23図 位置図



第24図 発掘区 (左No.13、右No.14)



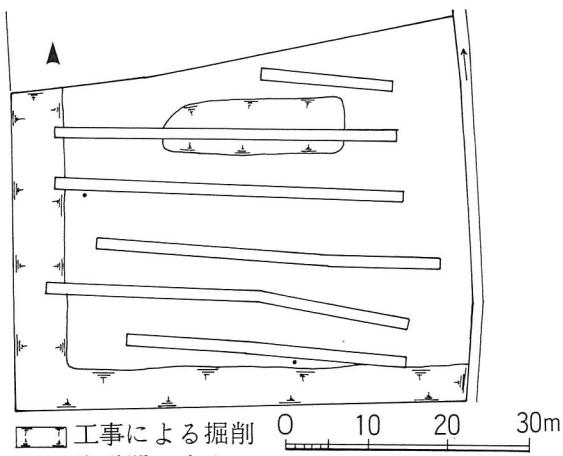
P L 12 出土土器

### 塚越大沢遺跡 (No.15)

遺跡は、丘陵部と平野部の接する所にあって、標高約12mの微高地上に立地する。

昭和63年の駐車場の建設に先立つ試掘調査では、今回の対象地の東方約50mの斜面で古代の炭焼窯跡9基を検出している。

今回の調査では遺構が確認されず、わずかに近世の陶磁器2点と瓦1点が出土した。



第26図 発掘区

### 小杉流通業務団地内No.1遺跡 (No.16)

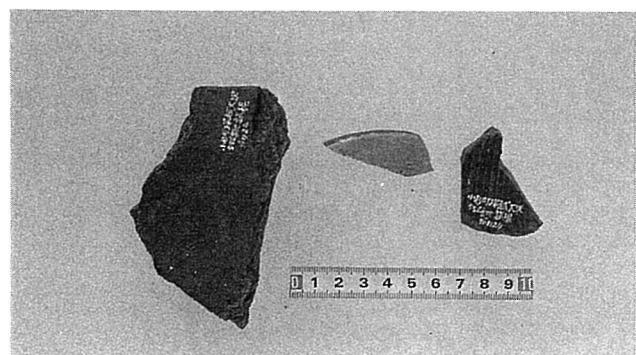
遺跡は、平野部に接した標高約30~34mの丘陵上に立地する。

昭和63年には会社の新設に伴い計画地の一部で遺跡の所在確認調査をしている。

今回の調査地では、丘陵平坦面から大きさ数mの穴や、幅0.5mから1.5m程の溝状遺構と共に土師器1点が出土した。



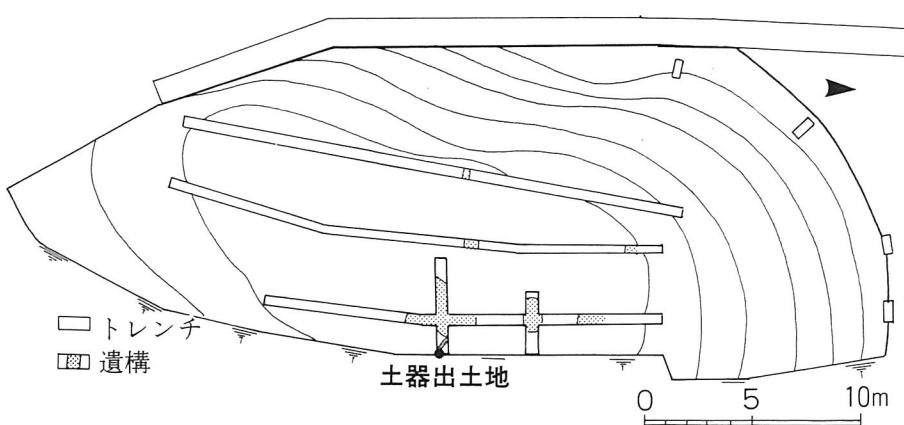
第25図 位置図



PL 13 出土土器



第27図 位置図



第28図 発掘区



PL 14 出土土器

## 4. 本 調 査

平成2年小杉町教育委員会で実施した本調査は、太閤山カントリークラブのゴルフ場関係を除くと、町道・企業団地の公共関連事業2件と民間会社や個人によるもの2件であった。

No.	遺跡名 所 在 地	原 因	調査期間	発掘面積	検出遺構	出 土 遺 物
1	中山中 太閤山1-41-4外	個人宅地 造 成	H 2・4・11～5・2 (延べ13日)	約149m <sup>2</sup>	柱穴状ピット約20、溝1(弥生後期)、周溝状遺構2(古墳)、竪穴住居跡1(奈良)	繩文土器(後・晚期)石斧、弥生土器、土師器、須恵器(古～平)、鉄滓
2	白 石 白石734-2外	町道建設	H 2・8・22～10・21 (延べ34日)	約747m <sup>2</sup>	溝2(古墳前期)	土師器・木製品・管玉(古墳前期)
3	針原東 戸破字針原671-1外	企 業 団 地	H 2・10・22～11・4 (延べ18日)	約531m <sup>2</sup>	穴約25、溝2、井戸1(弥生後期)	弥生土器
4	針原東 戸破字針原(拡張A区)	企 業 団 地	H 2・12・5～12・11 (延べ6日)	約848m <sup>2</sup>	穴9	弥生土器
5	黒河尺目 尺目2,030外	ガソリンス タンド建設	H 2・10・6～10・23 (延べ6日)	約246m <sup>2</sup>	掘立柱建物1、穴6、溝1(平安)	繩文土器、土師器・須恵器・鉄滓(平安)、陶磁器(近世)

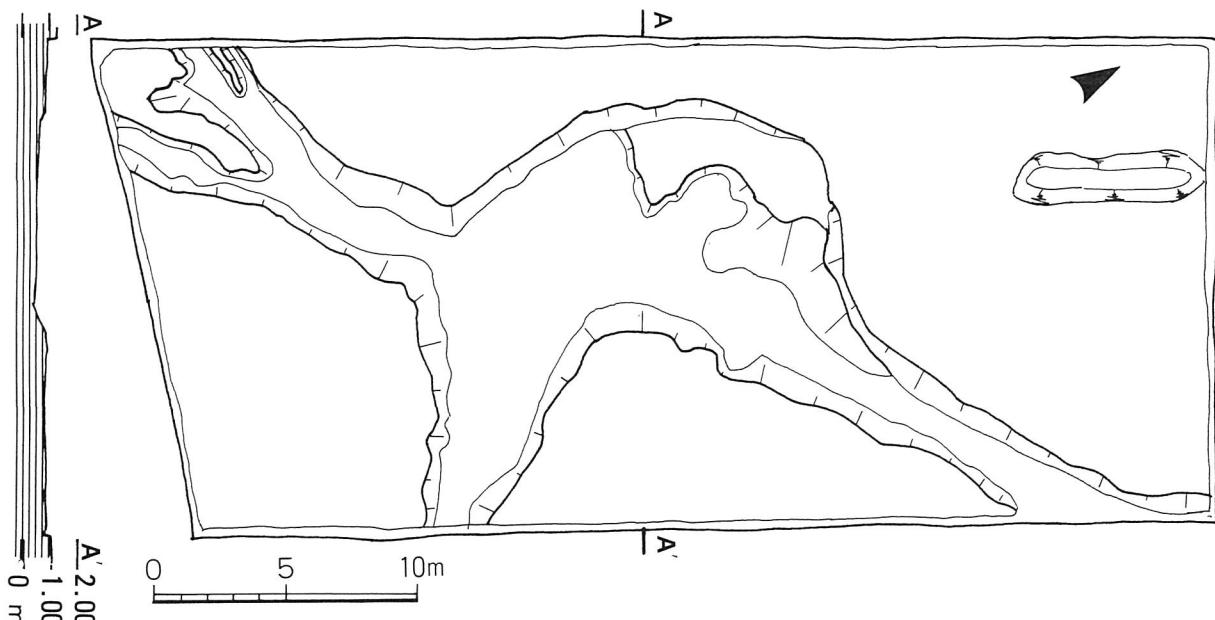
表3 本調査 (No.5は11ページ参照)

### 白石遺跡 (No.2)

遺構は溝のみである。溝の幅は、2.5～9.0mあって東西方向に長く掘込まれる。底面は東側が低い。この溝は調査区の中程で南側と西側の二方向に分かれており、深さは数十cmである。遺物は、殆どが溝の覆土から検出され、土器・板材・礫が出土した。



PL 15 出土土器



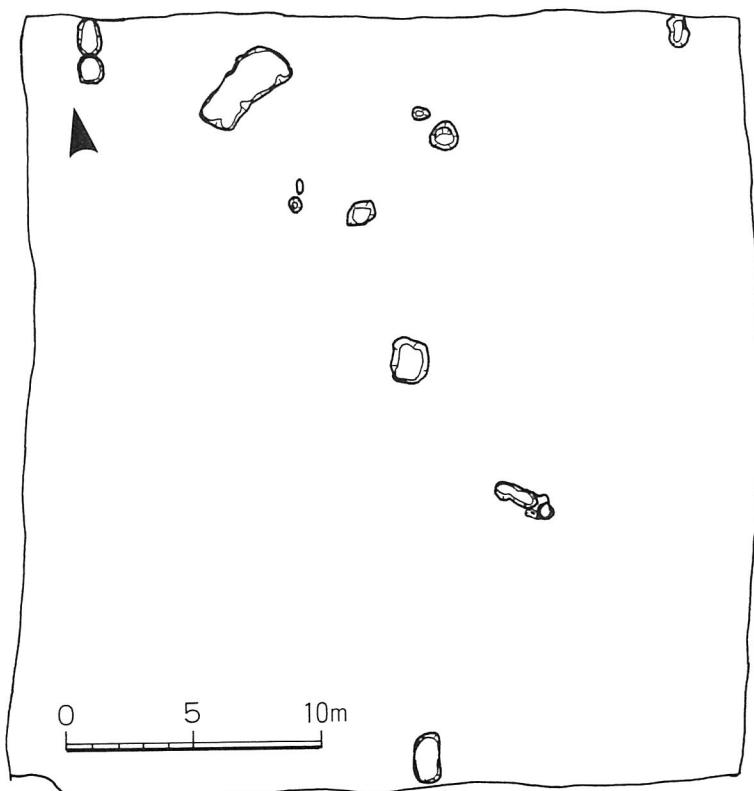
第29図 遺構平面図

### 針原東遺跡 (No.3・4)

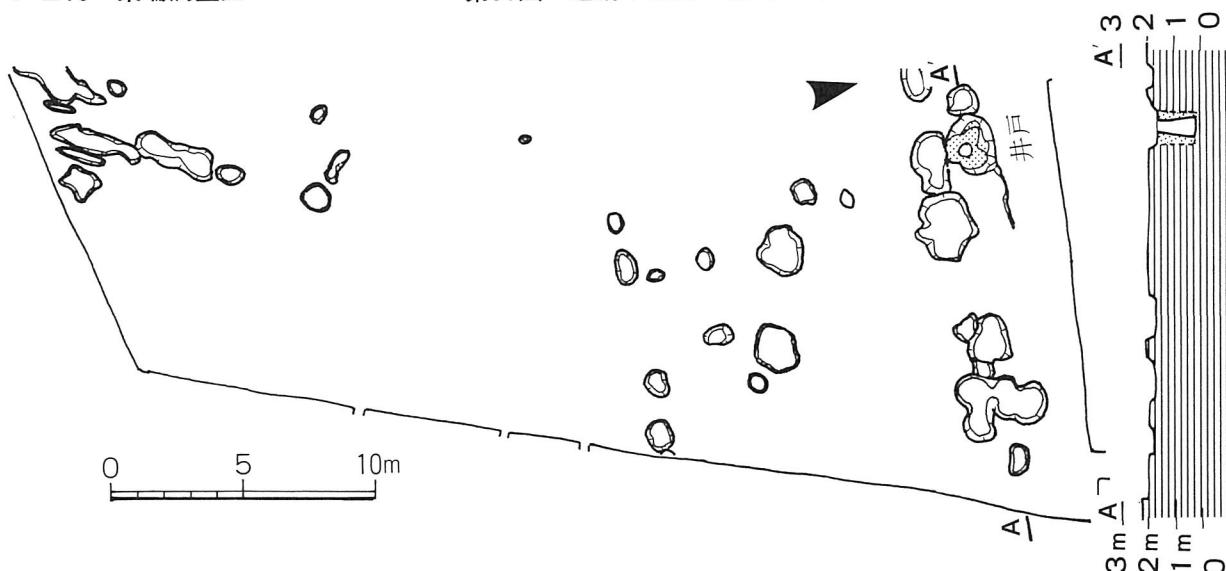
調査は、遺跡の東端部分と南西部分（拡張A区）の2箇所で行なった。東端の調査では発掘区北側の幅10m、深さ30cmの凹地に堆積するように多くの土器が確認された。その北側から弥生時代末の刳り抜き井戸枠（上端径50cm下端径80cm、長さ150cm）を検出した。



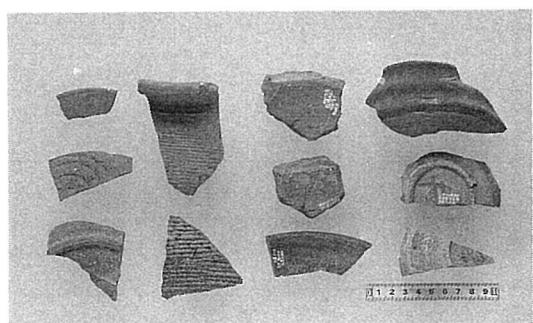
P L16 東端調査区



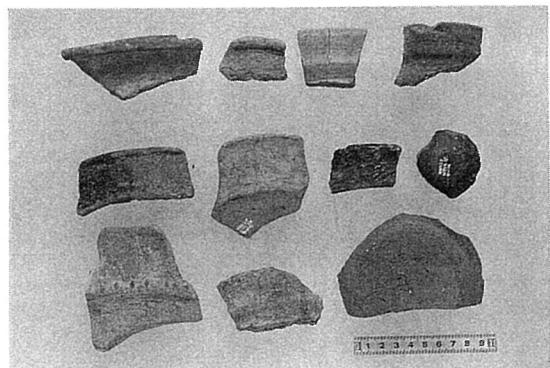
第30図 遺構平面図（拡張A）



第31図 遺構平面図（東端調査区）



P L17 出土土器（左 拡張Aから）



## 5. ゴルフ場関係の調査

太閤山カントリークラブのゴルフ場建設に係る埋蔵文化財の調査は、昭和62・63年に計画地の富山市・小杉町で分布調査が実施されたことに始まる。この時点では、小杉町で10遺跡が確認されている。

次いで平成元年6～7月に分布調査で明らかとなった遺跡を対象とし、試掘調査が市・町の教育委員会で行い、引き続き7～11月に遺跡の存在が推定される地域を対象に試掘を継続している。

その結果、富山市・小杉町では、19遺跡が確認され、遺跡の性格は奈良時代から平安時代にかけての須恵器窯跡や製鉄炉・炭焼窯跡を中心とした生産遺跡群であることがわかった。

No.	遺跡・地区	対象面積	調査方法	調査期間	発掘面積
1	赤坂A-III	約 500m <sup>2</sup>	試掘調査	9・1～9・29（延べ18日）	約 395m <sup>2</sup>
2	赤坂B-II	約 380m <sup>2</sup>	本 調 査	11・13～1・31（延べ36日）	約 380m <sup>2</sup>
3	赤坂C-I	約2,220m <sup>2</sup>	本 調 査	5・9～10・17（延べ98日）	約2,220m <sup>2</sup>
4	赤坂C-III	約 80m <sup>2</sup>	本 調 査	5・11～6・6（延べ15日）	約 80m <sup>2</sup>
5	赤坂C-IV	約 630m <sup>2</sup>	本 調 査	5・11～7・2（延べ31日）	約 630m <sup>2</sup>
6	赤坂C-V	約 760m <sup>2</sup>	本 調 査	5・22～12・26（延べ82日）	約 610m <sup>2</sup>
7	赤坂C-VI	約1,300m <sup>2</sup>	本 調 査	7・10～12・26（延べ92日）	約1,198m <sup>2</sup>
8	赤坂C-VII	約 580m <sup>2</sup>	本 調 査	6・11～9・6（延べ43日）	約 580m <sup>2</sup>
9	赤坂C-VIII	約1,030m <sup>2</sup>	本 調 査	8・20～12・26（延べ70日）	約 653m <sup>2</sup>
10	赤坂C-XV	約 400m <sup>2</sup>	本 調 査	10・15～12・26（延べ50日）	約 400m <sup>2</sup>
11	赤坂C-XVI	約 260m <sup>2</sup>	試掘調査	10・16～10・17（延べ2日）	約 28m <sup>2</sup>
		約 28m <sup>2</sup>	本 調 査	10・23～11・8（延べ4日）	約 28m <sup>2</sup>
12	赤坂C-XVII	約 150m <sup>2</sup>	試掘調査	10・16（延べ1日）	約 100m <sup>2</sup>
13	赤坂C-XVIII	約 320m <sup>2</sup>	試掘調査	10・18～10・19（延べ2日）	約 243m <sup>2</sup>
14	赤坂C-XIX	約 243m <sup>2</sup>	本 調 査	10・22～11・8（延べ14日）	約 243m <sup>2</sup>
		約 400m <sup>2</sup>	試掘調査	10・17～10・19（延べ3日）	約 190m <sup>2</sup>
		約 190m <sup>2</sup>	本 調 査	12・6～12・26（延べ9日）	約 190m <sup>2</sup>
15	赤坂D-III	約 620m <sup>2</sup>	本 調 査	11・9～1・19（延べ17日）	約 620m <sup>2</sup>
16	赤坂D-IV	約 400m <sup>2</sup>	本 調 査	11・6～1・31（延べ18日）	約 400m <sup>2</sup>
17	赤坂D-V	約 260m <sup>2</sup>	試掘調査	10・27（延べ1日）	約 400m <sup>2</sup>
18	赤坂E-II	約 190m <sup>2</sup>	本 調 査	7・2～1・31（延べ13日）	約 190m <sup>2</sup>
19	赤坂E-V	約 80m <sup>2</sup>	本 調 査	7・2～7・11（延べ8日）	約 80m <sup>2</sup>
20	赤坂E-X	約 205m <sup>2</sup>	試掘調査	10・23～10・25（延べ3日）	約 205m <sup>2</sup>
21	赤坂E-XI	約 80m <sup>2</sup>	試掘調査	10・31～11・1（延べ2日）	約 80m <sup>2</sup>
22	赤坂E-XIV	約 200m <sup>2</sup>	試掘調査	10・4～10・15（延べ7日）	約 178m <sup>2</sup>
23	赤坂E-XV	約 200m <sup>2</sup>	試掘調査	10・1～10・15（延べ10日）	約 142m <sup>2</sup>
24	野田池A-III	約 250m <sup>2</sup>	試掘調査	12・4～12・17（延べ4日）	約 225m <sup>2</sup>
25	野田池A-IV	約 600m <sup>2</sup>	試掘調査	12・3～12・25（延べ9日）	約 513m <sup>2</sup>
26	野田池A-V	約 600m <sup>2</sup>	試掘調査	12・4～12・8（延べ2日）	約 519m <sup>2</sup>
27	野田池A-VI	約1,500m <sup>2</sup>	試掘調査	12・4～12・22（延べ7日）	約 675m <sup>2</sup>
28	野田池A-VII	約1,500m <sup>2</sup>	試掘調査	12・3（延べ1日）	約 74m <sup>2</sup>
29	野田池A-VIII	約 900m <sup>2</sup>	試掘調査	11・24～12・26（延べ5日）	約 244m <sup>2</sup>
30	野田池A-IX	約 80m <sup>2</sup>	試掘調査	11・29（延べ1日）	約 27m <sup>2</sup>
計	6 遺跡30地区		試掘調査 17件（約4,238m <sup>2</sup> ） 本 調 査 16件（約8,502m <sup>2</sup> ）		

表4 太閤山カントリークラブ建設地内の埋蔵文化財調査実績

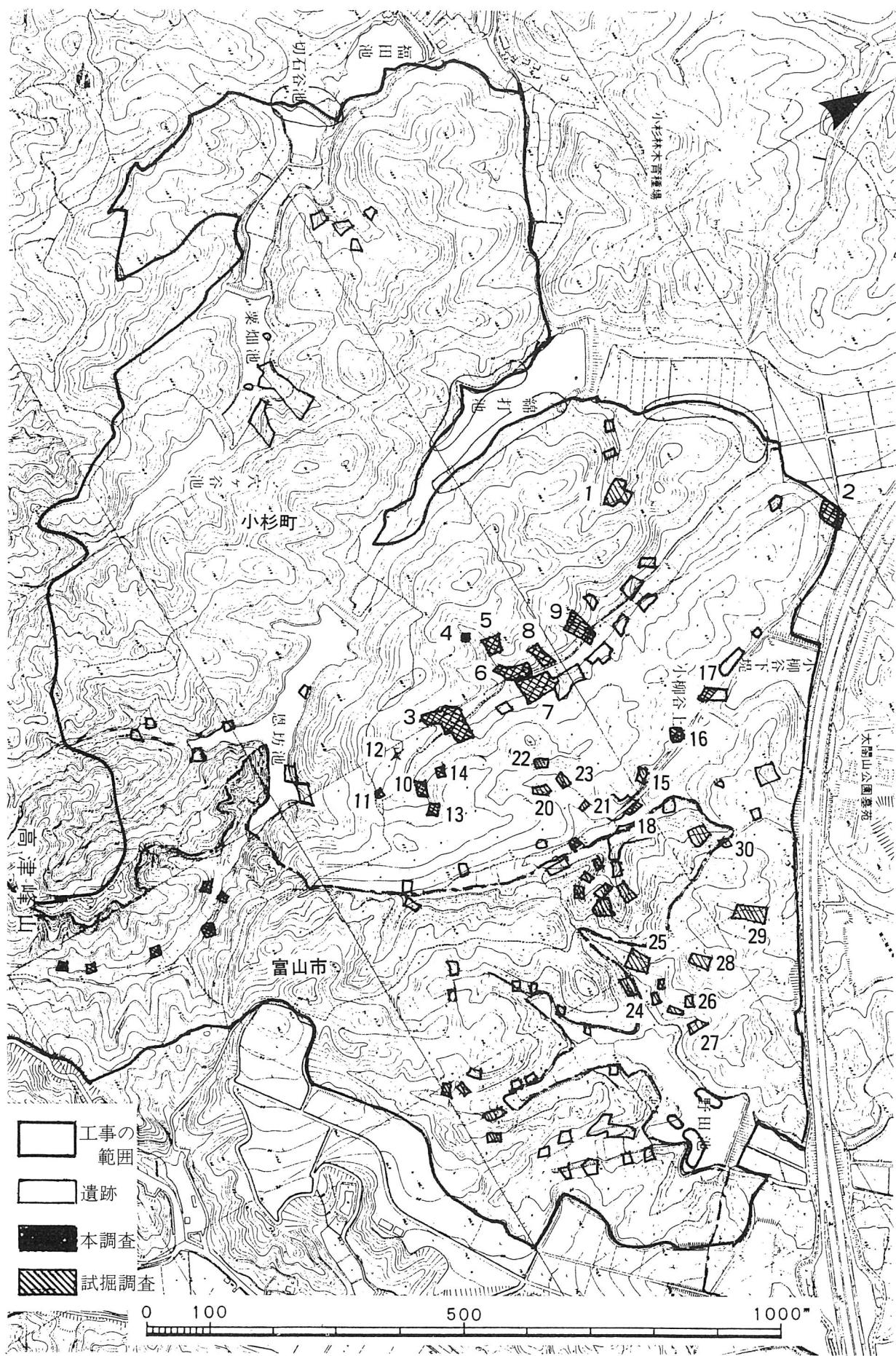
試掘報告をうけて関係者による協議が重ねられ、設計変更等による保存遺跡の面積を、約半分までに近くまで増やすことにより、調査期間の短縮がはかられ調整の困難な遺跡は、民間の考古学研究所の協力を得て本調査することとなった。

本調査は平成元年に1遺跡の発掘を行い、平成2年は5月から山武考古学研究所調査員の協力のもとに小杉町及び富山市教育委員会が調査主体となって発掘が進められた。

ゴルフ場建設工事は、平成2年4月から開始されたが、6～9月には工事の進捗に伴い伐採後の丘陵掘削面において新たに多くの遺跡の所在が分布調査により明らかとなった。このため10月以降には、次年度の工事との調整をはかるために試掘調査を行い、取り扱いについて協議を進めている。

主な遺構	主な出土遺物	備考
炭焼窯跡8、箱形製鉄炉5、石組みの鍛冶炉2、溝状遺構1 須恵器窯跡3、穴1、溝状遺構1 須恵器窯跡1、炭焼窯跡3、豊形製鉄炉1、箱形製鉄炉1、焼壁穴6、採土穴3、その他穴2、鉄滓散布地2 木炭を充填した穴1 炭焼窯跡1(横口式)、焼壁穴1	斐イゴ・鉄滓約1箱、木炭 須恵器約30箱 須恵器約120箱、鉄滓・炉壁約200箱 木炭 須恵器杯身	調査中 考古地磁気測定 5箇所 考古地磁気測定 1箇所
炭焼窯跡6(横口式1、地下式2)、箱形製鉄炉1、焼壁穴3 炭焼窯跡4、箱形製鉄炉1以上、採土穴3、その他の穴2、鉄滓散布地1 炭焼窯跡1(横口式)、焼壁穴3、柱穴状ピット 炭焼窯跡3(地下式1)、箱形製鉄炉1、その他穴3	須恵器・土師器・木炭 須恵器・土師器・筒形土製品・鉄滓約400箱 須恵器・土師器・鉄器 須恵器・土師器・筒形土製品1・鉄滓数箱 須恵器約80箱、土師器・木炭・鉄滓・炉壁約30箱	考古地磁気測定 2箇所 調査中 考古地磁気測定 4箇所 調査中 考古地磁気測定 1箇所 考古地磁気測定 5箇所
須恵器窯跡1、炭焼窯跡3(横口式1)、豊形製鉄炉1、焼壁穴2、採土穴2 焼壁穴1 " 遺構確認されず 炭焼窯跡1(地下式)、焼壁穴1 " 炭焼窯跡1(地下式) " 炭焼窯跡1、焼壁穴1・溝1	木炭 " 木炭 土師質土器・木炭 鉄滓	考古地磁気測定 1箇所 考古地磁気測定 1箇所 調査中 考古地磁気測定 1箇所
炭焼窯跡1、焼壁穴1、その他穴4 焼壁穴1 炭焼窯跡1 穴2、鉄滓散布地1 炭焼窯跡2	鉄滓	考古地磁気測定 1箇所 調査中 考古地磁気測定 2箇所
穴1 炭焼窯跡1 炭焼窯跡2、焼壁穴1 焼壁穴1 炭焼窯跡5(横口式を含む)、豊形製鉄炉3、鉄滓散布地1	須恵器杯身 須恵器杯身 須恵器・鉄滓	
炭焼窯跡2、穴1 炭焼窯跡1、豊形製鉄炉2、鉄滓散布地1、穴2 遺構なし、丘陵上に須恵器散布 須恵器窯跡2、炭焼窯跡5、豊形製鉄炉2、穴2 穴2	須恵器 須恵器・鉄滓 須恵器 須恵器・鉄滓	赤坂E-XVIの広がり

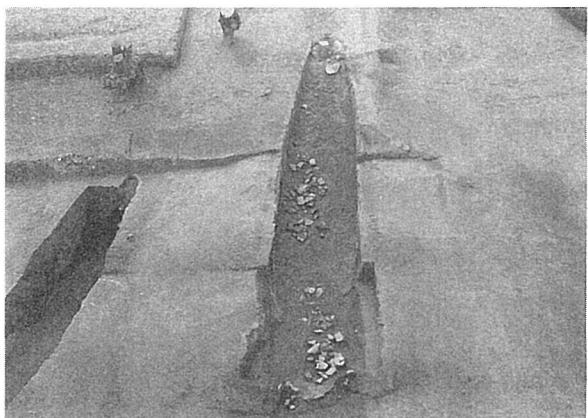
(平成2年5月9日～平成3年1月31日までの期間)



第32図 太閤山カントリークラブ建設地内の遺跡



P L 18 赤坂C-I地区、近景



P L 19 赤坂C-I地区、須恵器窯跡 (S-01)



P L 20 赤坂C-I地区、採土穴内の土器出土状況



P L 21 赤坂C-I地区、方形の焼壁穴



P L 22 赤坂C-XV地区、全景



P L 23 赤坂C-XV地区、須恵器窯跡 (1次床面)



P L 24 赤坂C-XV地区、横口式炭焼窯と須恵器窯跡



P L 25 赤坂C-XV地区、同上 (2次床面)



PL 26 赤坂C-XV地区、堅形製鉄炉



PL 27 赤坂C-VII地区、横口式炭焼窯跡



PL 28 赤坂C-IV地区、横口式炭焼窯跡

## 6. 普及・活用

### (1) 遺跡の見学

小杉町教育委員会が実施している本調査中の2遺跡について行なった。

ゴルフ場建設に係る赤坂C遺跡では、7月22日(日)に山武考古学研究所の協力を得て4地区で一般の人々を対象に現地説明会を開催した。また、同遺跡への見学は、7月7日(土)に富山考古学会・射水丘陵研究会メンバーによるものや、8月5日(日)に町史編纂委員会によるものがあった。

町道建設に係る白石遺跡では、9月9日(日)に町民バスによるものや、9月28日(金)に町史編纂委員会による見学がおこなわれた。

### (2) 整理室(太閤山小学校)の見学

整理室では、昨年調査を実施した遺跡の報告書刊行に伴う遺物整理や図面作成を行っている。

また、今年度の発掘調査で出土した遺物の洗いや出土地を記す注記作業を進めてきた。

整理室には、次の見学があった。5月11日(金)に町会議員の見学。7月20日(金)に町民バスの見学。10月25日(金)に三ヶ婦人学級町民バス一般コースの見学(12名)。11月21日(木)に南太閤山地区成人大学移動講座・ふるさと探訪視察の見学(32名)。

### (3) 展示

小杉町民展示館の2階常設展示室(約60m<sup>2</sup>)で6月から9月にかけて「近年の発掘調査から」を開催した。展示内容は、昭和63年・平成元年に小杉町教育委員会が発掘調査した上野南遺跡の製鉄関連の生産遺跡からの出土品を中心に構成した。この他に、中山中遺跡、千田遺跡からの出土土器も合わせて展示し、各調査遺跡の文字・写真パネル22点を説明に用いた。

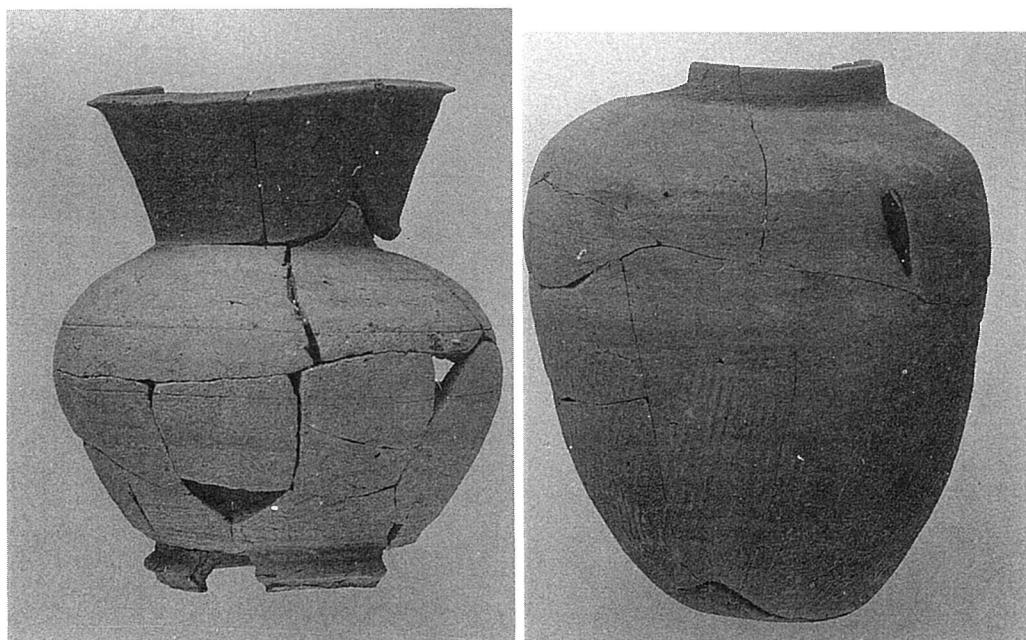
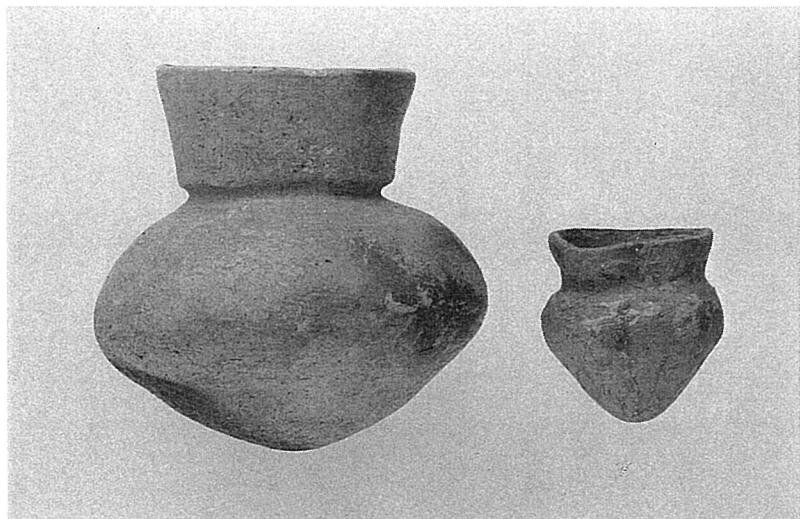
### (4) 報告書等の刊行

小杉町教育委員会発行のものは、以下のとおりである。

①「椎土遺跡・塚越貝坪遺跡発掘調査概要」(A4版 60P、図版28)

1988・3

- ② 「黒河西山遺跡発掘調査報告」(A4版 26P、図版14) 1989・3
- ③ 「塚越貝坪遺跡・大越大沢II遺跡発掘調査概要」(B5版 6P、図版2) 1989・3
- ④ 「千田遺跡調査概要」(B5版 10P、図版6) 1990・3
- ⑤ 「野田池A遺跡—I地区発掘調査概要」(A4版 20P、図版5) 1990・3
- ⑥ 「小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 1988・1989年度」(B5版 6P、図版2) 1990・3
- ⑦ 「上野南遺跡群発掘調査報告」(A4版 184P、図版86) 1991・3
- ⑧ 「屋敷野池B遺跡発掘調査報告」(A4版 23P、図版14) 1991・3
- ⑨ 「小杉町中山中遺跡発掘調査概要」(A4版 20P、図版2) 1991・3
- ⑩ 「小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧1991年度」(B5版 21P) 1991・3



写真是針原東遺跡井戸内出土の土器（上）  
赤坂C遺跡I地区出土の須恵器（下）

## **小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 1990年度**

---

平成3年3月25日

編集 小杉町教育委員会  
発行 富山県射水郡小杉町戸破1511  
〒939-03 電話(0766)56-1511  
印刷 山下印刷紙器

---